

めざす児童生徒像

- ・まわりの人を思いやり, 協力してよりよい社会を創る子
- ・夢や志をもち, 自ら考え, 挑戦する子
- ・ふるさとに誇りをもち, 発展に貢献する子

※児童生徒結果-教員結果・保護者結果

目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	数値・アンケート結果 (%)			※差	達成状況の分析	改善策
				教員	児童生徒	保護者			
(学校重点項目)	挑戦する子	①を100%	① 学校生活が充実している。						
			② 児童生徒活動や行事に主体的に協力し合っている。						
			③ 自分の役割を果たし、学校・学級をよりよくするために考えて行動している。						
			集計						
重点項目	働き方や業務の改善	③を90%	① 80時間越えゼロに向け、時間外勤務の削減・目標退校時間を意識している。						
			② 学校組織の中で自分の役割が明確であり、創意工夫しながら取り組むことができている。						
			③ 働き方の改善を目指し、各部内での協力体制づくりが心かかっている。						
			集計						

目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	数値・アンケート結果 (%)			※差	達成状況の分析	改善策	
				教員	児童生徒	保護者				
小松市共通重点項目	学校研究	①②の平均が 中間・・・85%以上 年度末・・・90%以上	① 研究主題に迫る目指す授業スタイルを共有し、単元(授業)構想シートなどの具体的な取組を共通実践している。							
			② 授業研究では、教職員一人一人が子供の姿を語ったり、改善案を示したりするなど主体的に取り組んでいる。							
			集計							
	指導力の向上	「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善 ⑤の教員及び児童生徒の割合が 中間・・・85%以上 期末・・・90%以上		① 児童生徒は、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。						
				② 児童生徒は、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。						
				③ 児童生徒は、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。						
				④ 児童生徒は、話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え(自分と同じところや違うところ)を受け止めて自分の考えを伝えている。						
				⑤ 児童生徒は、振り返り活動の中で、授業の目標に沿って自分の学びの姿を振り返り、学びに対する達成感を得られたりしている。						
				⑥ 児童生徒は、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために使用している。						
	集計									
	学力の向上	カリキュラム・マネジメント	①②③④⑤⑥共に100%にする。	① 指導計画の作成に当たっては、学校の教育目標の実現に向け、各教科等の教育内容を教科横断的な視点で組み立てている。						
				② 児童生徒や学校、地域の実態を捉えて教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している。						
③ 全教職員に「実施状況の検証」及び「成果の検証」の方法や内容、時期について周知し、計画的に検証を実行している。										
④ 校区の小・中学校間で学力について情報交換し、課題について共有している。(小中連携)										
⑤ 主要教科で記述問題に取り組み、読解力の向上に努める。(前期課程)										
⑥ 定期テストの記述問題の結果を分析し、授業の改善を行う。(後期課程)										
集計										
家庭学習		①教員100%、3～9年生「計画を立てて勉強している」90%以上にする。 ②教員100%、児童生徒「家庭学習で学習用端末を活用する」90%以上にする。 ③児童生徒90%以上にする。(質問内容は学年に応じる)	① 家庭学習の取組として、学習方法や課題の課し方を校内で共通理解を図っている。							
			② 学習用端末を活用した家庭学習に取り組めるよう課題を工夫している。							
			③ 成果を実感できる家庭学習に取り組んでいる。							
			集計							